

**製品名: FER マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM85974**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500
分子量	94.6kDa

**抗原情報**

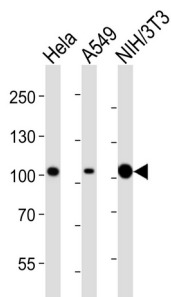
遺伝子名	FER Tyrosine-protein kinase Fer, Feline encephalitis virus-related kinase FER, Fujinami poultry
別名	sarcoma/Feline sarcoma-related protein Fer, Proto-oncogene c-Fer, Tyrosine kinase 3, p94-Fer, FER, TYK3
遺伝子 ID	2241.0
SwissProt ID	P16591
免疫原	この FER 抗体は、組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

**背景**

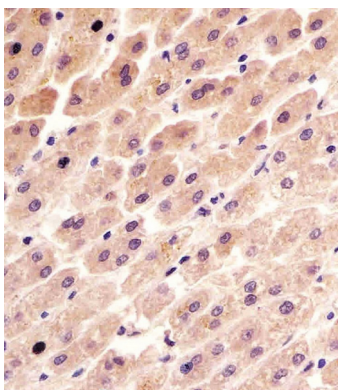
成長因子に対する細胞表面受容体の下流で作用し、アクチン細胞骨格、微小管アセンブリ、ラメリポディア形成、細胞接着、細胞移動および走化性の調節に役割を果たすチロシンタンパク質キナーゼ。EGFR、KIT、PDGFRA および PDGFRB の下流で作用します。EGFR の下流で作用して、NF- $\kappa$ B の活性化および細胞増殖を促進します。有糸分裂細胞周期の調節に役割を果たす可能性があります。インスリン受容体シグナル伝達経路およびホスファチジルイノシトール 3-キナーゼの活性化に役割を果たします。活性化 FCER1 受容体の下流で作用し、肥満細胞における FCER1（高親和性免疫グロブリンイプシロン受容体）を介したシグナル伝達に役割を果たします。肥満細胞の脱顆粒の調節に役割を果たします。細菌性リポ多糖（LPS）に反応した白血球の動員および細胞外遊出に役割を果たします。シナプス組織化、シナプス小胞の輸送、興奮性シナプス後電流の生成、ニューロン間シナプス伝達に関与する。脳損傷後の神経細胞死にも関与する。CTTN、CTNND1、PTK2/FAK1、GAB1、PECAM1、PTPN11 をリン酸化。JUP および PTPN1 もリン酸化される可能性がある。STAT3 もリン酸化される可能性があるが、その生物学的意義は細胞の種類と刺激に依存する。

## 研究分野

## 画像データ



Hela、A549、マウス NIH/3T3 細胞株（左から右へ）のライセートを FER 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。FER マウスモノクローナル抗体は各レーンで 1:2000 に希釈した。二次抗体として、ヤギ抗マウス IgG H&L(HRP) を 1:3000 に希釈したものを使用した。ライセートは 1 レーンあたり 20 $\mu$ g。



AMM85974 を用いたヒト肝組織切片の免疫組織化学染色（IHC-P - パラホルムアルデヒド固定、パラフィン包埋切片）における FER 染色。組織はホルムアルデヒドで固定し、3% BSA で室温で 0.5 時間ブロッキングした。抗原賦活化はクエン酸緩衝液（pH6）を用いた加熱処理により行った。検体は FER マウスモノクローナル抗体（1/25）とともに 37°C で 1 時間インキュベートした。二次抗体には、希釈していないビオチン化ヤギ多価抗体を用いた。